

海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 10 月 10 日

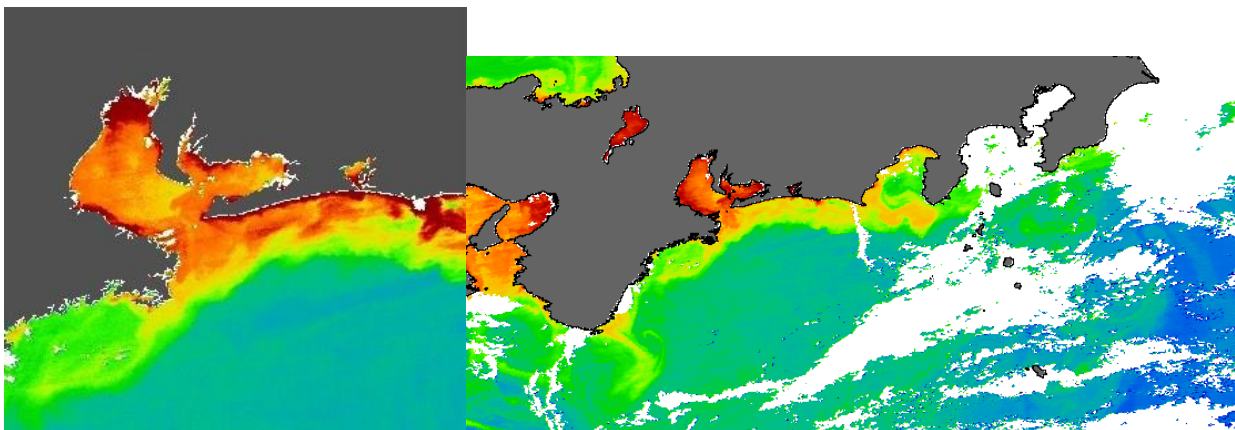
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

10 月 8 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、伊勢・三河湾と渥美半島沿岸域で高く、特に伊勢湾奥と伊勢湾南部（三重県伊勢市沿岸）、三河湾西部で高くなっています。

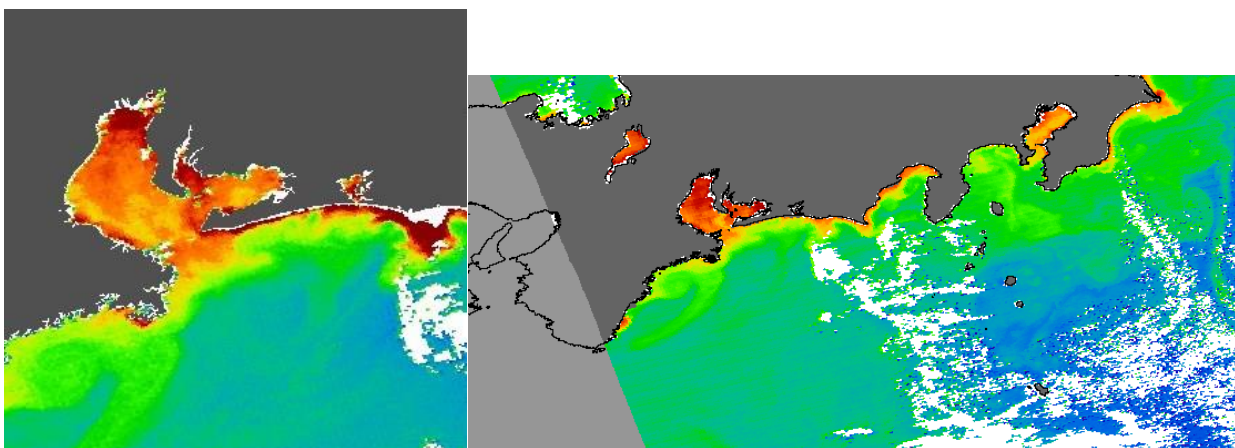
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、9 月は秋雨前線の停滞や台風の降雨により、伊勢・三河湾、湾口域、渥美半島沿岸域では昨年より高い値で推移しています。渥美外海は他の海域ほど大きな変動はありませんが、9 月下旬から内湾系水の張り出しにより、クロロフィル a 濃度が増加したと考えられます。

（宇宙航空研究開発機構 (JAXA) / 東海大学 (TSIC/TRIC) 提供の MODIS 画像)

AQUA によるクロロフィル a 濃度分布 (10 月 8 日)



AQUA によるクロロフィル a 濃度分布 (9 月 28 日)



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

平成 30 年 10 月 10 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(10 月 9 日までのデータ)

